

様式第1（第9条関係）

平成29年 ○月○○日

特定非営利活動法人  
北関東産官学研究会  
会長 根津 紀久雄 あて

申請者住所 〒376-0024  
桐生市○○○○○○○○

申請者氏名 株式会社○○○○  
代表取締役 ○○ ○○ 印  
必ず代表者印↑

平成29年度 ぐんま新技術・新製品開発推進補助金 交付申請書  
(産業支援機関・県パートナーシップ支援型)

【開発テーマ：○○○○○○○における○○○○○○○の開発】

平成29年度ぐんま新技術・新製品開発推進補助金（産業支援機関・県パートナーシップ支援型）の交付を下記のとおり申請します。

なお、自己又は自己の団体の役員等は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者には該当しないことを誓約します。このことに関して必要な場合には、群馬県警察本部に照会することを承諾します。

記

1 補助事業の目的及び内容

別紙補助事業計画書のとおり

2 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

補助事業に要する経費 金 3, 221, 300円

交付申請額 合計金額 金 2, 000, 000円

交付申請額（県・北関東） 金 1, 000, 000円（※合計額の1/2）

3 添付書類

- ・会社案内
- ・開発製品の仕様図
- ・本開発製品に関する業界動向記事
- ・○○新聞での本開発製品紹介記事（平成○○年○○月○○日掲載）

【別紙】

## 補助事業計画書

|                             |   |   |      |               |
|-----------------------------|---|---|------|---------------|
| 1. 開発テーマ                    | ○○○○○○における○○○○○○の開発   |   |      |               |
| 2. 申請者                      | 株式会社○○○○<br>代表取締役 ○○ ○○   |   |      |               |
|                             | 氏名又は名称  |   |      |               |
|                             | 住所又は所在地<br>〒376-0024<br>桐生市○○○○○○○○   |   |      |               |
|                             | 資本金又は出資金  | 1,000万円   | 従業員数 | 20名           |
|                             |   |   | 創業年月 | S30年12月       |
|                             | 主たる事業内容<br>・<br>主たる製品   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○○○の開発・製造・販売</li> <li>・△△△△のOEM生産</li> <li>・○○○○ (年間売上高 約5,000万円)</li> <li>・△△△△ (年間取引額 約3,000万円)</li> </ul> |      |               |
| 開発担当者                       | 役職  | 企画開発部長  | 氏名   | ○○ ○○         |
|                             | TEL   | (0276)○○-○○○○   | FAX  | (0276)○○-○○○○ |
|                             | E-mail  | XXXXXXXX@XXXX.co.jp   |      |               |
| 経理担当者                       | 役職  | 予算経理部長  | 氏名   | ○○ ○○         |
|                             | TEL   | (0276)○○-○○○○   | FAX  | (0276)○○-○○○○ |
|                             | E-mail  | XXXXXXXX@XXXX.co.jp   |      |               |
| 3. 事業実施場所                   | ※2カ所以上ある時は全て記載し、主たる実施場所に◎印を付すこと。<br>株式会社○○○○ (桐生市○○○○○○○○) ◎<br>群馬産業技術センター (○○市○○町XXXX-XX)  |   |      |               |
| 4. 過去に県又は同支援機関の補助金の交付を受けた実績 | 実績あり / 実績なし (どちらかに○)<br>※ありの場合、その補助金の種類、テーマ、交付金額及び利用年度を記入。<br>平成26年度ぐんま新技術・新製品開発推進補助金<br>テーマ：○○○○○○の開発 補助額：1,200,000円                         |   |      |               |
| 5. 本事業以外の補助金への申請予定の有無       | 申請中 / 予定あり / 予定なし (いずれかに○)<br>名称：革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金<br>テーマ：○○○○○○における○○○○○○の開発<br>補助申請額：X,XXX,XXX円 採否決定予定時期：H29.4月頃<br>※国事業採択の場合、本補助金を辞退 |   |      |               |

## 1 開発体制

### (1) 社内体制

開発責任者

|    |       |    |       |    |    |
|----|-------|----|-------|----|----|
| 氏名 | 〇〇 〇〇 | 部署 | 企画開発部 | 役職 | 部長 |
|----|-------|----|-------|----|----|

開発参加者

|    |       |    |       |    |    |
|----|-------|----|-------|----|----|
| 氏名 | 〇〇 〇〇 | 部署 | 企画開発部 | 役職 | 主任 |
|----|-------|----|-------|----|----|

経理担当者

|    |       |    |       |    |    |
|----|-------|----|-------|----|----|
| 氏名 | 〇〇 〇〇 | 部署 | 予算経理部 | 役職 | 係長 |
|----|-------|----|-------|----|----|

### (2) 共同研究者（アドバイザー等）

|      |             |        |  |
|------|-------------|--------|--|
| 氏名   | 〇〇 〇〇       | 報償等の有無 |  |
| 所属   | 群馬産業技術センター  |        |  |
| 協力内容 | 〇〇〇〇〇〇の性能評価 |        |  |

## 2 開発内容

### (1) 開発の概要（※300字程度で簡潔に記載してください）

|   |
|---|
| (研究概要の要旨)<br>・当該研究開発のポイントやアピールすべき内容を盛り込みつつ、(3)の具体的内容を簡潔にまとめる形で記載してください。 |
|---|

### (2) 開発内容の新規性、既存の従来製品（商品・技術）に対する優位性

|   |
|---|
| ・市場における、今回開発するものと同種のもの（ライバルになると想定される製品・商品など）について、その問題点や課題について記載<br>・それに対しての比較優位な点や改善点について、客観的な項目や数値に基づき具体的に記載<br>ex 当社の有する〇〇技術を活用することで、一般に市販されている既存の製品と比較して、〇〇に関し〇〇%の品質向上、〇〇%の製造コスト低減 等 |
|---|

(3) 具体的な内容（文字数の制限なし。書ききれない場合はA4、1枚程度）

（開発の経緯、開発を行う目的など）

- ・市場や顧客のニーズ、社会的背景など

（段階開発の経緯、開発を行う目的など）

- ・現段階での技術的課題や開発要素、その必要性など
- ・計画期間内に、試作品の開発や製品・商品化に向けた課題解決への取組をどのように行うかについて、各開発段階及び実施内容等
- ・研究開発目標を達成するために、活用する技術シーズ等

(4) 目標達成及び実現の可能性

（現在（類似製品を含む）の市場規模等）

- ・開発成果に関連する市場の状況や規模、既存製品のシェア等について客観的なデータを基に記載
- ・販売ターゲット（地域、企業、消費者層等）について具体的に記載

（目標達成及び実用化の可能性）

- ・開発成果の今後の事業化予想（売上額、利益、シェア見込み等）について記載

（開発後の販売戦略方法及び製品としての市場性）

- ・開発成果の普及方法（販路開拓方法）について記載

(5) 開発に必要な設備機器

|  |
|--|
|  |
|--|

(6) 開発スケジュール

| 項目        | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |  |  |  |
|-----------|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|--|--|--|
| 材料検討、形状検討 | →  |    |    |     |     |     |    |    |  |  |  |
| 試作        |    | →  |    |     |     |     |    |    |  |  |  |
| モニター調査    |    |    | →  |     |     |     |    |    |  |  |  |
| 改良試作、評価試験 |    |    |    |     |     | →   |    |    |  |  |  |
|           |    |    |    |     |     |     |    |    |  |  |  |
|           |    |    |    |     |     |     |    |    |  |  |  |
|           |    |    |    |     |     |     |    |    |  |  |  |

3 知的所有権の状況

今回の開発に関連する特許等の状況について、いずれかに○を付け、該当する事項を記入してください。

ア 取得（申請）済み [権利の種別、番号、名称等を記入してください。]

|  |
|--|
|  |
|--|

イ 申請予定 [権利の種別、申請内容、申請予定時期を記入してください。]

|  |
|--|
| 開発製品の○○○○部分の基本技術に関する特許権（平成 29 年 12 月頃） |
|--|

ウ その他

|  |
|--|
|  |
|--|